

採れたて!!

わかごぼうのニュース

No.69

発行 2019年12月
八尾市パーソナルサポートセンター
大阪府八尾市本町1-4-1-201
TEL:072-999-7900

好きなものに出会おうと...

移動中の車中で「お小遣いの使い道はどうするの?」と聞かれたので「アニメが好きなので、グッズを天王寺に買いに行きたいです。」と答えました。
話を続けていくうちにボロッと、「行きたい気持ちはあるけど不安があつて行けない。」と打ち明けました。「そういうことなら、みんなで行けばいい。」と言われて行くことにしました。

当日、何事もなく目的地の天王寺に着きました。久しぶりのアニメショップに興奮しました。私が昔に来た時と店内の配置が変わっていて、びっくりしながら店内を回りました。目的だったクリアファイルを見つけたけど、種類が多くてどれを買うかすごく悩みました。悩みに悩んで、何とか選びました。
他のものも見て回ると好きなアニメのグッズを見つけてしま



い、買うか悩んだり、一緒に来ていたメンバーの人に好きなアニメがどういった話なのか聞かれたので、アニメの内容を自分なりに説明したりして、トータルで一、二時間いました。まだまだ居たかったなと思いました。

アニメショップを出た後は、昼食を食べてしばらく休憩を挟んで本屋に行きました。本屋では欲しい本を見つけたので、買うか悩みましたが、思い切つて買いました。まだ少し時間があつたので、次に行く場所をどこにするかという話になり、カバンを変えたいと前から思っていた私は思い切つて「カバンが見たいです。」と発言しました。いくつかカバン屋さんを見回りましたが、自分的に良いのが見つからず、今回は買うことを見送りました。

天王寺に行った翌日は、足が筋肉痛になったり、体も疲れたみたいで、動く体が硬くなつていて痛くて動かしづらかったけど、一日で治りました。
また、天王寺に行きたいです。

好きなものを見ると興奮するぞぞぞ



恒例の干支キャラデザインコンテスト

今年もわかごぼう恒例の干支キャラデザインコンテストの時期がやってきました。来年の干支であるネズミをモチーフに、メンバー各々がキャラクターをデザインしてもらいました。来年の紙面を飾るのはどのキャラクターでしょうか?お楽しみに!



わかごぼうは失敗できる場所
家とは違う場所へ出かけた。でもいきなりは不安。お話できなくても一緒に過ごしてみよう。失敗しても構いません。そこからたくさんのお話を学べるから。

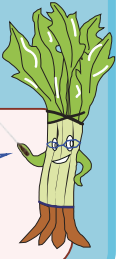
八尾市社会的居場所事業

わかごぼうに 来ませんか?

☆参加対象になる方
◇社会参加を望みながら不安を感じている方
◇これからの自分を考えたい
家族以外の人との関わりが薄い方
※また、その方のご家族・親族の方も
ご相談いただけます。
(込み合う場合がございますのでご予約下さい。)

今を変えたいけど、どうしたらいいのかわからない。
そんなあなたに答えるための社会的居場所です。

自分のペースで参加できます。



開催時間：毎週木曜日14:00-16:00
開催場所：わかごぼう
八尾市南本町7-6-23
※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨

お問い合わせ & 参加申込み
電話：072-992-6921
✉ : wakagobou@yaops.jp
電話受付時間：9:00-17:00 (祝日除く月~金)

ウニもめる

全員で様々な「ふれる」を十五個見つけ出せ

(前号まで)ニフレルで様々な「ふれる」を十五個見つけるミッションを開始しました。

館内入ってすぐのエリアは「色」にふれるエリア。テーマ通り、色とりどりの生物が水槽の中を泳いでいました。知らない生物からメジャーな生物。色だけでなくプレートに書かれた説明を読み、様々な特色に「ふれ」ました。



「わが」にふれるエリアではドクターフィッシュと呼ばれる魚と触れ合えました。指を水槽に入れると、集まってきて古い角質を食べてくれるお掃除屋さんです。食べられるとくすぐった

のエリアをどんどん進みました。「みずべ」のエリアでちょうどホワイタイガーの食事イベントに参加することが出来ました。イベント前に飼育員から誕の注意があり、頭上の金網から離れました。始まったホワイタイガーの食事シーンで餌に対する本能に「ふれ」たり、水辺にダイブした際の水しぶきは観客の奥の方まで届く程で、届くと思っていなかったメンバーは涎は避けられたのに冷たい水がかかり水しぶきに「ふれ」ました。

いような、痛いような不思議な感覚に「ふれ」て、盛り上がりました。他にも「すがた」「かくれる」など

これまでの各エリアでの感想を言い合いながら、最後のエリアへ。コツメカワウソやカピバラ、ペンギンなどがいて、可愛い動物に「ふれ」て、癒されながら、出口に迎えました。出口でニフレル限定ガチャガチャに「ふれ」たり、ショップ内のグッズを見て、ニフレル探索は終了です。結局、ミッションは達成できましたが、ニフレルを目いっぱいみんな楽しんでくれました。

わかごぼうニュース編集

わかごぼうでは、毎月参加者が企画した活動内容を参加者自身でコンテンツにしたニュースを編集して発信しています。



是非次号もご覧ください

思い内にあれば色外に現わる

誕生日を迎えるひとがいた。彼女は病弱ながらも典雅な女性で何事も真剣に取り組む女性だった。そんな彼女のため、ささやかながらも居場所を誕生日を祝うことにした。

誕生日に必要な洋菓子は手作りにすることに決めていたが、そこで一つの不安が。今の居場所でお菓子作りに精通しているのは彼女ぐらいで、お菓子作りの知識があっても経験がない僕は、なさないながらも主役のはずの彼女に「お菓子を一緒に作ってくれませんか？」と告げた。そんな、なさない提案も彼女はすんなりと受け入れてくれた。こうして主役も巻き込んだ誕生日会が始まった。

手際よくお菓子作りを進めていく彼女を横目に、手際の悪い僕は、すべて一人で終わらせようとする彼女に何とか助力できるような、あたふたしながら調理法とにらめっこしていた。そんな光景をみかねてたのか、彼女は次にやることや今してほしいことをきばきと指示してくれた。嬉しかった。主役である彼女自身を働かせているそんな罪悪感もありながらも、居場所では、めつたに人を頼ることがない彼女に少しも頼りにされていることが、少しづつ増えてきているそんな些細なことがうれしかった。



それから何とか焼き上げる工程まで進めていくと彼女の困惑する顔が見えた、どうやら居場所です使う天火ではお菓子上手く火が通らないようで、何度も何度も火の通りを見ながら焼き加減を調整していた。予定していた時間を大幅に越えて出来た洋菓子は主役の手によって切り分けられみんなの前に並べられた。お祝いの言葉に少しそわそわしながら洋菓子を頬張る彼女を見て、来年もまた誕生日を祝えるような関係でありたいと願いながら、この居場所が彼女の居場所であり続けられるよう、そう思う情景だった。

包丁砥ぎに挑戦したけむり。

「わかごぼうで使っている包丁が切りにくい。使にくい。」とメンバーからよくクレームが出るのが発端で、包丁を砥いでみようということになりました。スタッフさんが用意してくれた砥石は水を使って砥ぐタイプのもので使わないタイプのものです。今回は、水を使わないタイプの砥石を使いました。

私は、包丁砥ぎをやったことが無くて、スタッフさんに砥石の使い方やレクチャーしてもらいました。砥ぐときの角度と回数を同じにするように砥ぐことが重要だと教えてもらって、やることに。



いざやるとなると初めてだったので、少し怖くてなかなか始められませんでした。勇気を出して、砥いでみるとギツという削れる音がゾワゾワと気持ち悪くて嫌だと感じました。それでも音を我慢しながら、表を砥ぎ終えました。裏面をするときに刃を砥石にあてる角度がこれだよかったか教えてもらいながら砥ぎました。最後に砥いだ包丁でトマトを切りました。砥ぐ前と砥いだ後では、私は砥ぐ前のほうが切りやすいと思いました。

わかごぼう



来月は、免許はあるけど運転に不安なペーパードライバーのための駐車講習会や、風邪予防に効果のある金柑を使ったお茶と焼き菓子での茶話会、オトナの雰囲気になれるカクテル講習会等を予定しています。他にも冬らしい企画がちらほらと。もちろん、いつものボランティアやテーマトークもありますよ。

みんな似ている。ひとりにはよくない。つながる力を身に着けよう。社会的居場所わかごぼう新規参加者募集中です。